

## 1. 会社概要（基本情報）

会社名	HOKU株式会社	
所在地	住所	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町8-1 FinGATE TERRACE
	電話	03-3527-3115
	HPアドレス	<a href="http://www.hoku-fund.com">www.hoku-fund.com</a>
代表者	代表取締役 松本 リード	
金融商品取引業登録番号	関東財務局長(金商)第3008号	
登録年月日	2017年8月1日	
協会会員番号	012-02793	
業務開始年月	2017年9月	
資本金	1億3925万円	
受付窓口	COO/CO 門田 裕美子	
電話	03-3527-3115	
E-mail アドレス	<a href="mailto:info@hoku-fund.com">info@hoku-fund.com</a>	

## 2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

HOKU株式会社は、代表取締役兼CIOの松本リードが2017年に設立後、一貫して日本上場株式ロング・ショート戦略にて投資運用を行っています。昨今の困難な市場においても、安定したリターンを追求し、長期的な視点で投資家の信頼を得られるパートナーとしての投資運用業者たること、ヘッジファンド業者としての株式市場へ貢献できる意義を探求し続けています。

以下が主なHOKUの運用の特色となります。

特色1：HOKUの運用担当者（2名）はいずれもセルサイド自己取引部門責任者及びバイサイドCIO経験者です。日本株式トレーディングに20年来従事、アベノミクスやグローバル金融危機時もライブマーケットで経験しています。これらの長いサイクルからなる経験を駆使し、トップダウンアプローチにてPL至上主義のリスクマネジメントを行います。

特色2：日本株式市場のトレンドを理解するには最大投資家層である外国人投資家の視点・発想の理解が不可欠であり、弊社では外国人投資家の情報ネットワークに常時繋がり、投資家の投資センチメントの変化を把握、外国人の銘柄選択の際の思考パターンについての理解を熟知しています。

特色3：昨今の業績の優劣が株価に直結しない局面に加えて、マクロ要因（人口減やデフレ）や日本独特の制度や構造が株価決定のノイズとして影響するなど、従来と違った様相の市場展開がよく見られます。HOKUでは、銘柄選択の基準は業績の優劣でなく、現状からの需給関係の変化の大きさ（変化値）を収益源泉と考えます。

特色3：市場のリスク・オン、オフの入れ替わりが頻繁で尚且つサイクルが早く、長期保有が収益率に結びつきにくい市場になっています。HOKUでは各銘柄、ポートフォリオ全体のPLを常時モニターし、能動的・機動的にポジションを修正するトレーダー的トップダウンの運用スタイルで、市場の短期サイクルに対応しています。

特色4：Hokuメンバーは全員がバイサイド・セルサイド双方の大手金融機関勤務経験者であり、日本株式市場各業務にて様々な部門責任者として歴任してきた経歴を持ちます。強い職業倫理とプロフェッショナルリズムを持つ全メンバーが一丸となってベストプラクティスを追求し続けます。

### 3. 投資に関する意思決定プロセス

HOKUの投資対象は上場日本株式のうち、主に大型株で流動性の高い株式に限られます。その中で、以下のプロセスで投資意志決定を行います。

#### 1) ベースラインの確立

個別銘柄別に、ファンダメンタルズ的指標とテクニカル指標でのベースライン（現状分析値）を設定します。ファンダメンタル分析では、コンセンサスの理解と市場の見立てを重視し、更にテクニカル分析との融合にてベースラインを確立します。

#### 2) 変化値を見出す

ベースラインからの変化値をトレードチャンス・契機とみなすため、変化値ファクターを注視します。プライスアクションに対するエントリーポイントの見極めもこの段階でモニターします。

#### 3) ポートフォリオ構築

運用チームの確信度によりウェイトニング・分散化を行い、PL最重要視したリスクマネジメントを行います。

### 4. 運用体制

運用は、運用担当者2名と調査担当1名の合計3名からなるポートフォリオ・マネジメント部門が担当します。

インベストメント責任者：

CIO 松本リード

運用判断の責任者として従事。ポートフォリオ全体のリスク管理、銘柄最終選択を含む運用方針を決定します。

トレーディング責任者：

シニアトレーダー ガスティン・コリー

マーケットインパクトを最小限に抑えながらトレーディングを行います。調査担当者からの銘柄推薦のスクリーニングやモニタリングも担当しております。

調査担当：

シニアアナリスト リード・ロドニー

調査分析担当。セルサイドアナリストなどからの情報収集に加え、会社訪問やインタビューも行うことにより、各銘柄や業界のファンダメンタル調査を担当します。

## 5. 運用金額

2024年3月末時点にて、運用資産は361億円。

## 6. 運用実績

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Total
2024	1.41%	1.10%	0.81%										3.36%
2023	0.23%	0.57%	-1.38%	-1.35%	1.15%	1.63%	0.79%	0.55%	0.75%	-1.52%	-0.70%	-0.63%	0.02%
2022	0.68%	0.74%	1.18%	-0.94%	2.18%	0.24%	0.26%	0.54%	-1.59%	0.15%	0.67%	-1.11%	2.97%
2021	2.66%	0.56%	1.74%	-0.30%	0.09%	0.95%	-0.69%	-0.80%	1.76%	1.50%	0.17%	0.22%	8.06%
2020			3.45%	3.72%	1.17%	2.47%	-0.97%	1.17%	-0.48%	0.83%	-0.38%	0.51%	11.97%
2019	2.08%	0.39%	-0.01%	3.68%	-2.35%	1.01%	-0.42%	-0.85%	1.99%	0.76%	2.05%	-0.22%	8.26%

単一運用戦略収益率；日本円ベース、ネット収益率。

2020年1－2月：運用残高なし

2020年3－7月：Theoretical book trading

## 7. アピールポイント

HOKU株式会社は、日本株式市場業務に経歴豊富なバイリンガルのメンバーで構成され、東京にて従事しています。国際色豊かなチームメンバーは全員が大手金融機関のセルサイド・バイサイド双方での勤務経験を持ち、中でも運用担当者は、市場サイクルの幾多の荒波をライブマーケットで経験してきました。日々の運用は、PL重視によるきめこまやかなリスク管理によって行われ、堅実な収益性を追求し続けます。また、リスクオフィサーは、適宜市場リスクを鑑みながら取引をモニターし、日々のリスク管理を行っています。

オペレーション面では、日次トレード並びに関連業務を全て STP (Straight Through Processing) で自動取引できる体制を構築、人的エラーを最小限に抑える仕組みを導入済みです。これにより、投資一任契約受注数増加による取引量増加にも少人数所帯にて問題なく対応してきております。2024年1月には、業容拡大を念頭に、従来の適格投資家向け投資運用業から、一般の投資運用業へのライセンス変更登録を完了、今後の新たな投資家からの需要にこたえられる体制を整えております。

2023年3月には、コミングルドファンドの運用を開始、預かり資産も順調に推移しています。

HOKU株式会社は、日本・東京で投資運用業を行うことで築くことができた当局・市場関係者・投資家との連携をありがたく誇りに思っております。引き続き日本の資産運用業界並びに株式市場の更なる発展の一端を担う機会があれば光栄に思います。